

クラス番号	903	担当教員名	柏倉 秀克
テーマ	障害のある人（子ども）のこころの理解と支援		
ゼミナール概要			
基礎演習の目的は、1年次の総合演習での学びを発展させるとともに、3・4年次の専門演習で本格的に研究するための基礎力を身につけることにあります。従って基礎演習は研究するための方法や研究結果のまとめ方を学ぶことが主な目的となります。 担当者はこれまで愛知県下の特別支援学校で障害のある子どもたちの支援に携わってきました。多くの実践を通して、障害のある子どもたちの苦しみや家族の思いにふれてきました。その経験を生かし、このゼミでは障害のある人（子ども）や家族が抱えるさまざまな問題について検討します。その際、障害のある人（子ども）や家族の“こころ”をキーワードとして取り上げます。 このゼミでははじめに基本文献をじっくりと読みこみ、障害のある人（子ども）やその家族を理解するための基本的な学びを行います。さらに後半はゼミ生が関心を持ったさまざまなテーマを掘り下げ、基礎的な研究方法に基づきグループごとに研究を実施し、その結果をレポートにまとめます。 このゼミで取り上げるさまざまなテーマとは、①障害のある人が感じる孤独や孤立感、②障害児の親が抱えるこころの問題、③引きこもりの子やその家族が抱える問題、④病気や事故で障害になった人が直面するこころの問題、⑤通常の学校や特別支援学校で学ぶ障害のある子どもたちが抱える問題、⑥障害のある仲間同士による支え合いの関係などを想定しています。			
[ゼミの流れ]			
前期は担当者が指定するテキストの購読を中心にグループごとに演習を進めます。そこでは議論の進め方、発表の方法、レポートのつくり方を学びます。後期はゼミ生が設定した研究テーマに基づきグループを編成し、グループごとに研究テーマを掘り下げていきます。そこでは基礎的な研究方法について学ぶとともに研究結果の分析方法やレポートの作成方法について学びます。なおレポートは前期と後期にそれぞれ提出してもらいますが、事前に担当教員の指導を受けていることが条件となります。最後に研究結果をグループごとに発表します。			
前期の前半：オリエンテーション、自己紹介（プロフィールの作成を含む） グループの編成－仲間を知る 基本文献の購読－演習の進め方を学ぶ 前期の後半：グループでの演習 教員の指導を受けたレポートの提出（1回目） 夏季合宿（1泊2日） 後期の前半：後期のテーマ設定 テーマ別グループでの演習－研究方法を学ぶ、グループ別の調査研究 後期の後半：テーマ別グループによる全体発表 教員の指導を受けたレポートの提出（2回目）			
担当教員からのメッセージ			
	現代社会は情報が氾濫しています。情報を無秩序に取り入れるだけでは混乱が深まるばかりです。さまざまな情報を整理し、自分のものにしていく力が求められています。そのためには一人ひとりが自分自身にきちんと向き合う必要があります。さらに仲間や教員の声をきちんと受け止めることも重要です。大学2年生は学生生活の分岐点にあたります。貴重な時間を皆さんと共有できることを願っています。 ゼミは真剣に学ぶ場であると同時に、思い出作りの場でもあります。フィールドワークや合宿などさまざまな時間を仲間や教員と共有できる学生を歓迎します。		